

庄内総合支庁管内の取組状況等について

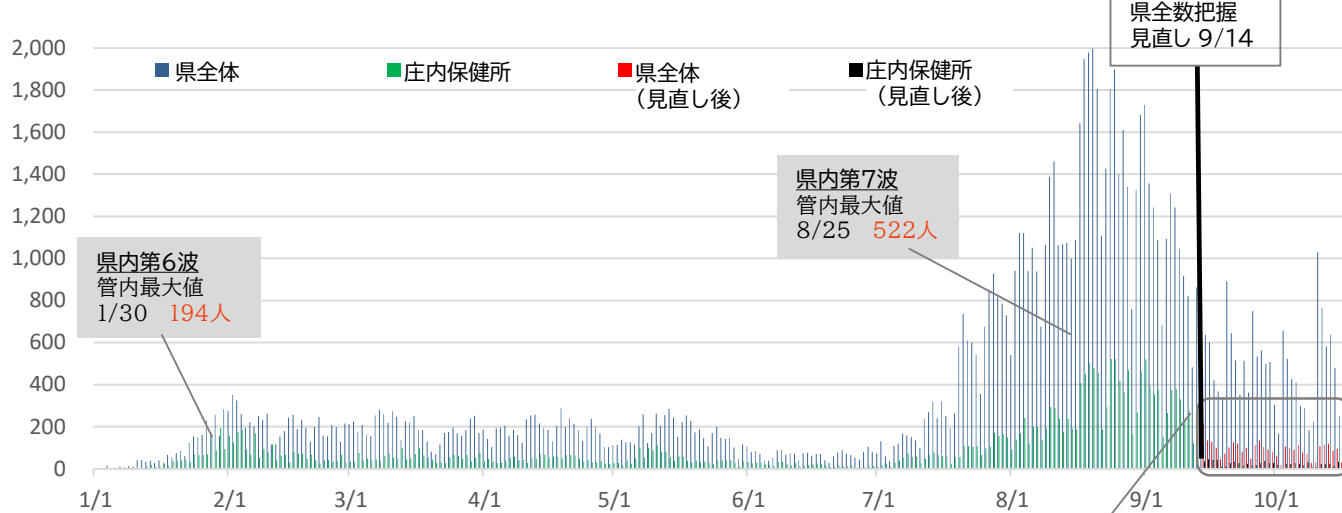
令和4年10月25日(火)
庄内総合支庁

- 1 新型コロナの状況
- 2 若者定着・移住の促進
- 3 「食の都庄内」づくりの推進
- 4 ポストコロナにおける観光誘客
- 5 高規格道路の整備促進／
道路・河川事業の状況
- 6 地域の話題

玉簾の滝(酒田市)

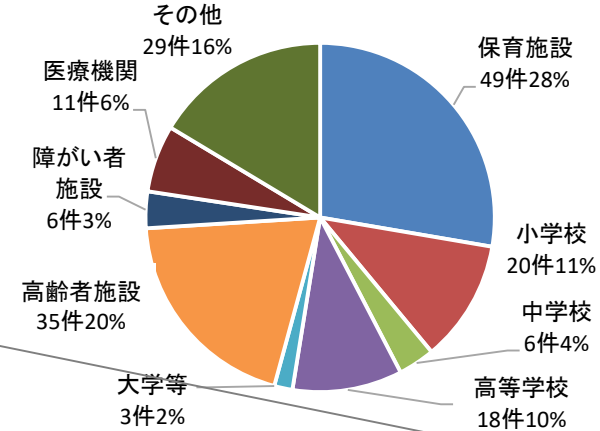
1-1 新型コロナの状況

○ 感染者数の推移 (R4/1/1~10/18)



○ クラスターの発生状況 (R2/12/5~R4/10/18)

発生件数 177件



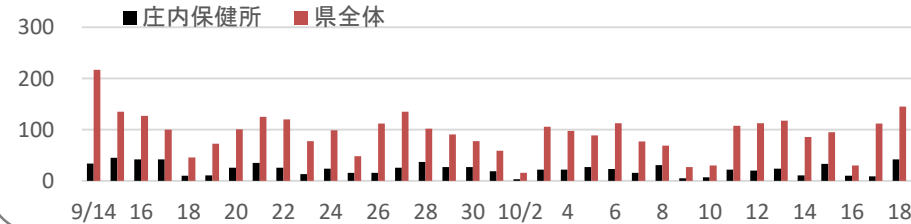
○ 第7波における対応状況

- ・ 1日あたり最大感染者数は、第6波の194人を大幅に上回る522人(8/25)
※7~9月延べ感染者数15,288人(3ヶ月で全数把握期間の6割超)
- ・ 保健所を中心に宿泊療養施設運営もあわせて、全庁体制(約70人/日)で、休日も含めたローテーション体制を構築
- ・ 地区医師会、病院、市町・教育委員会との毎週ミーティングによる連携強化
- ・ クラスター発生時にはICN(感染管理認定看護師)派遣による感染防止対策指導及び抗原検査キットの活用による初動対応を徹底

○ 業務改善等の取組み

- ・ 会計年度任用職員の配置
※9月までに事務職員8名(5月~4名、9月~4名)配置、保健師7名(IHEAT:保健師等人材バンク)を感染状況に応じて配置(2~3名/日)
- ・ 本庁等からの職員応援派遣(7/27~9/13 延べ170人)
- ・ 本庁、市町等からの保健師応援派遣(2/16~9/13 延べ461人)
- ・ 食料支援の外部委託(7/30~)
- ・ 新規感染者への疫学調査項目の簡略化、検査誘導対象の絞込み
- ・ パルスオキシメーター発送対象の絞込み

発生届出人数 (9/14~10/18) 803人 (全県3,278人の24.5%)



○ 全数把握見直し後 (9/14~) の対応状況

- ・ 「陽性者健康フォローアップセンター」の開設(9/14~)
- ・ 移送業務の外部委託(9/15~)
- ・ 宿泊療養施設の外部委託(10/1~)

○ 今後の課題

- ・ 地域における第8波、インフルエンザ同時流行を想定し、地区医師会等と更なる連携を図り、円滑な検査・受診体制を構築

1-2 新型コロナの状況

○ 地域における新型コロナ、その他物価高騰等の影響

製造業

○ 食料品関連では、製造品目によりばらつきがあるが、円安・物価（原材料・資材等）高騰の影響が出ている。

[A社] 主要品目:食肉加工品
・主力の土産物製品が、人の動きが活発化し、注文が多く入ってきたが、材料が入手にくい。

[B社] 主要品目:米菓
・円安の影響でオーストラリア市場の売上が増加傾向。

[C社] 主要品目:豆腐、油揚げ等
・世帯の購買力が低下し、納入先となるスーパーが苦戦。原材料価格高騰もあり厳しい状況。

○ 電気機械部品関連では、中国国内でいまだにコロナの影響が続いている。

[D社] 主要品目:電子部品・コイル製品
・エアコン業界の引き合いが強く、忙しい。中国工場は、いまだにコロナの影響で物流が滞っている。

○ 自動車部品関連では、メーカーや車種によりばらつきがあるが、概ねコロナ前の水準に回復。

[E社] 主要品目:自動車関連足回り部品
・乗用車関係は、取引先や車種によりばらつきが大きい。生産量は概ねコロナ前に戻った。

○ 半導体製造装置部品関連では、半導体業界の好調が続いている。

[F社] 主要品目:半導体製造装置部品
・半導体関係は活況が続いており、工場は120%稼働で残業が続いている。

観光業

【宿泊施設】

○ 9月は3連休が2回あり、秋旅キャンペーンが9月まで延長となり好調。

○ 首都圏からの客増加。

○ 10月は、全国旅行支援（やまがた旅割キャンペーン）に期待し、改善の見通し。

【A温泉】

・9月は前年より大幅増。例年比でもやや増。

・連休は満室の日もあった。

・10月は9月同様の増見込み。

【観光立寄施設】

○ 9月は、県外からの増加を中心に大幅増。例年比で6～8割程度。

○ 10月は、全国旅行支援に期待し、改善の見通し。外国からの予約も入り始めている。

○ 仕入れ価格値上がりのため、価格転嫁を行っている。

【B施設】

・10月から仕入れ業者及び飲食店が値上げ。影響が懸念される。外国(アジア)からの予約あり。

【C施設】

・10月は富裕層など外国(アジア)の予約複数あり。

飲食業

○ 飲食店では客数が伸びず、回復の動きが弱い。

○ 原材料・物価高騰の影響を価格転嫁できない飲食店が目立つ。

【商工団体からの聞き取り】

・売上はどん底だった昨年と同程度。(夜営業)
・値上げをしたいが、地元客のため値段を据置している。(昼営業)

【その他】

○ 食品卸業では、前年比で売上が2～3割増加したが、コロナ禍前の8割程度。仕入れ値上昇と諸経費の増加で収益が悪化している。

【商工団体からの聞き取り】

・原油価格高騰が続く、配送料が上昇している。

○ 小売業（生活用品）では、物価高の影響により客数が減少している。光熱水費上昇、仕入れ値の上昇もあり、収益が悪化している。

○ 運転代行業では、コロナの全数把握終了により、利用者の意識が変化し、9月後半から持ち直しの動きが見られる。

○ ブライダル業では、売上が前年同月比で15%程度増加。徐々に回復の兆しが見られる。

【商工団体からの聞き取り】

・結婚式の規模が昨年まで10～20人程度だったが、今秋は100人規模の予約が入っている。

2-1 若者定着・移住の促進

(1) 高卒就職者の県内定着及び県外進学者の回帰を促進するための取組み

○ 庄内若者定着促進会議

若者人材の定着・回帰を促進するため、「産・学・官・金・労・言」の各界が危機感を共有しながら一丸となって、施策を検討

令和4年度庄内若者定着促進会議(8/18)の主な意見

◆ 回帰促進について

・将来的なUターンを意識した取組みに力を入れていくことが必要

◆ 事業の集約・効率化について

・類似事業の連携により、実施負担の軽減と事業の持続化を図ることが必要



○ 中・高生の職業体験会「WAKU WAKU WORK」

中高生に地元の「人・企業・職業」を体験してもらい、地元定着や進学後の地元回帰を促す

【令和4年度実績】

中学校14校(16回)、高校5校(6回) 計19校(22回)

(今後中学校・高校で各1回開催予定)

参加した生徒の声

・地元にも様々なやりがいのある仕事があることを実感した。将来の職業選択に活かしたい。



○ 高校生と地元企業との交流会

若手社員と高校生が率直な意見交換を実施。地元企業に対する理解を深めるとともに、高校生の地元就職意識向上と定着率の向上を図る

【令和4年度開催予定】

- ・ 県立酒田光陵高等学校 …(11/17)
- ・ 県立鶴岡工業高等学校 …(12/21)
- ・ 県立庄内総合高等学校 …(2/8)
- ・ 酒田南高等学校 …(2/17)



○ 地域産業理解促進セミナー

進学予定の高校生に対して、地元企業の魅力や地元で働く意義などを伝えるため、交流の場を提供

【令和4年度実績】

鶴岡南高校(6/23)、鶴岡中央高校(9/14)

(今後、管内の県立・私立高校5校で開催予定)



参加した生徒の声

・私が知らない職種や知らない魅力がたくさんあり、もっと地元のことを知りたいと思った
・地元をより良くしていくことはカッコいいと思ったし、自分も地元のために何かをしたい

○ 新卒者の離職防止事業

社員が長く働き続けるための手法を学ぶセミナーを若手社員向け、経営者向けに開催

【令和4年度実績】

● 「キャリアサポートセミナー」(9/28)

若手社員を対象に、就労意欲を持続して長く働き続けるためのヒントやコツなどを伝授するセミナー

参加した若手社員の声

・今まで先輩社員の体験談を聞く場面が少なかったため、先輩の事例や失敗談を聞く事ができ、自分の学びになった



【令和4年度開催予定】

● 「経営者セミナー」(12/1)

企業等の経営者及び人事担当者向けに、採用力アップと社員の定着率向上を図るためのセミナーと、離職者が少ない企業等による取組事例紹介

2-2 若者定着・移住の促進

(2) 若者定着の取組み

○ 庄内地域探訪 共創講座

- ・ 地域に対する愛着と誇り・郷土愛を醸成し、若者の地元定着の土台とすることを目的として、小中学生とその保護者を対象に、庄内地域の自然や文化などの地域資源に触れて体験する講座を山・川・海をテーマに3回開催(6月、8月、10月)

参加者の声

- ・ 改めて「風土」について知り、より最上川についての興味が湧きました。機会があればもう一度聞きたいです。(生徒)
- ・ 知っているようで知らない発見を子どもと体験できるいい時間でした。(保護者)



[写真右]

川 最上川船下り

[左]

山 苗木ポットづくり

[中央]

海 酒田北港緑地展望台



○ 若者「庄」学校ワークショップ

- ・ 高校生を対象に、若者の地元定着・回帰の土台となる郷土愛の醸成を図ることを目的としたワークショップを2回開催(7月、9月)
- ・ 地域の魅力を自分たちで調べ、体験プランを作成
- ・ 高校7校・高校生20名を含む延べ41名が参加

参加者の声

- ・ 色々な人と交流でき、地域への理解を深めることができた。
- ・ 地元にも知らないことを沢山知ることができて、充実した話し合いになった。



今後の取組み

- ・ 高校生自ら考えた体験プラン(地域の人にインタビューなど)を12月まで実施

○ 庄内若者ライフキャリアセミナーの開催(オンライン)

- ・ 山形県内、特に庄内地域での就職を検討する大学3年生を対象に、適性分析や地元就職を選択した若手社員の事例紹介等を通し、庄内地域でどんな仕事や生活ができるのかについて考えるセミナーを開催(7月)
- ・ 参加者アンケートでは、全員(6名)がセミナーに参加したことで地元就職のイメージにプラスの変化があったと回答

参加者の声

- ・ 下請けであっても、生活を支えている企業が多くあることがわかり、地元でもやりがいがある仕事ができるのではないかと思った
- ・ 大手就活サイトに掲載されていない企業が多いことがわかり、地元企業をもっと調べようと思った

今後の取組み

- ・ 第2回セミナーを11月に実施



2-3 若者定着・移住の促進

(3) 移住の促進

○ 庄内地域転入超過「強み」分析に関する調査

状況 庄内地域の転入転出の状況(2010年~2019年)

・25-34歳の県外からの転入超過が、県内4地域で唯一10年連続継続

転入者アンケートを実施(R3/10~R4/10)

調査項目 世帯の代表者とその配偶者の出生地・出身地・初職時の居住地、転入の理由、転入のきっかけになった人等

アンケートの状況 (7/4現在)

回答世帯数	UIJターン		県内移住
	未婚	既婚	
415	234		181
	未婚167	既婚67	

【UIJターンの主な状況】

- ・転入先では、鶴岡市が最も多い。(234件中139件)
- ・転入理由の第1位は「仕事関連」(166件)で、第2位は「地方への移住、田舎暮らし」(34件)となっている。
- ・未婚世帯では、Iターン者が最も多い。(167件中113件)
- ・既婚世帯(67件)のうち
 - ・Uターン者世帯では、妻がUターン者である世帯が多い。(30件中24件)
 - ・夫婦ともにIターン者世帯では、夫が転入のきっかけとなる世帯が多い。(21件中19件)

今後

転入理由の傾向を精査するため、アンケート結果の更なる分析と回答者へのヒアリングを実施

アンケート結果を踏まえた施策を展開

○ ハッピーライフカフェ(庄内)の開催 ~ショウナイススタイルコレクション~

庄内地域への移住を促進するため、2市3町と連携して、ハッピーライフカフェ(庄内)を開催。

日時:8/27(土)13時~15時

場所:東京有楽町ふるさと回帰支援センター

参加者:会場15名、オンライン11名

内容:① 2市3町の移住担当が、町の紹介のほか、庄内地域の「暮らし」を紹介
② 車座での座談会を実施

冬道運転が不安。
スタッドレスタイヤ
をはけば大丈夫?

大丈夫!
4駆だともっと
安心だよ

ソロ移住希望だけど、
生活費はいくら位
かかる?

庄内町だと家賃
は4~5万かな



座談会の様子

○ 「#庄内暮らしツタエタイ」 による情報発信

庄内地域へのUIJターン希望者が、庄内の暮らしをイメージできるよう、庄内の日常をSNSで発信する「庄内暮らしツタエタイ」を任命し、「#庄内暮らしツタエタイ」で発信中。

R4:12名任命、発信件数184件(8/1~9/30)
(任命期間:8/1~R5/7/31)

R3:18名任命、発信件数1,330件
(任命期間:8/1~R4/7/31)



3-1 「食の都庄内」づくりの推進



「食の都庄内」づくり

庄内の四季折々の多彩な食材と、歴史・風土が育んだ食文化を、庄内の魅力として地域内外に発信するとともに、多様かつ主体的な取組みを通して、「食の都庄内」のブランド化を推進し、食を起点とした地域産業の活性化を図る取組み

令和4年度取組状況

○ 庄内の食材の価値・ブランドの更なる向上

● 「食の都庄内」認知度向上に向けたSNSによる情報発信

- 「食の都庄内」アンバサダーとしてInstagramで発信する方を募集、10名選定
- 8月、11月、1月の3回、はえぬきや米粉のほか、だだちゃ豆やスルメイカなど旬の食材を提供
- レシピも入れながら料理写真を投稿いただいている



● 庄内砂丘メロンのブランド力向上に向けたPR活動

- 霞城セントラル管理組合と連携した庄内砂丘メロンキャンペーンの実施(8/4~8/7)
- メロン生産者の想いを発信する動画の作成
- 庄内砂丘メロンレシピ集を産地直売所や量販店等へ配布



● 庄内柿のブランド強化に向けた大玉生産と干し柿の品質向上

- 大玉生産技術の普及・定着
大玉生産マニュアル、摘果スケールを活用した講習会、研修会の開催
- 凍霜害の軽減に向けた手引書の作成
- 干し柿の生産性向上に向けた講習会・情報交換会の開催、新規生産者の掘り起し



大玉生産技術摘果講習会

● 庄内産農産物の消費拡大を図るキャンペーン

- 県外にお住まいの家族・友人に「庄内の旬の食」を贈るキャンペーンの実施
庄内砂丘メロン(7月)、日本なし(9月)、庄内柿(11月)
- 庄内産農産物を県外に贈った方と、Instagramに投稿し、情報発信した県外の方が対象。応募者には抽選で景品を贈呈



11月の庄内柿

3-2 「食の都庄内」づくりの推進

○ 庄内の料理人等の育成・定着

● 次世代へ庄内の「食」の魅力を伝える事業の実施



右上：ミニ料理体験
左上：冷凍施設見学
右下：ランチ実食

- ・ 次代を担う子ども達から庄内浜で獲れる魚と洋食文化の魅力について理解してもらう「食の都庄内」サマースクールを初開催(8/4)、小学5・6年生20人が参加

- ①ミニ料理体験
- ②庄内浜の漁業の学習
- ③漁船と冷凍施設見学
- ④庄内の魚料理と洋食文化の学習
- ⑤魚料理ランチの実食
- ⑥壁新聞作成

● 若い世代へ「食」に携わる職業の魅力を伝える記事連載



ホールスタッフの紹介

- ・ 料理人や生産者などにインタビューした記事をHPに掲載するとともに、SNSでも紹介
- ・ R4は無添加おやつ製造業者や飲食店経営者を紹介したほか、さらに3人紹介予定
- ・ R3のダイジェスト版を6月に管内の高校14校及び酒田調理師専門学校の全生徒に配布

○ 庄内の「食」を中心とした交流拡大

● 飲食店を周遊するキャンペーンの実施



R4キャンペーンパンフレット

- ・ 昨年に引き続き、庄内の旬の「食」とお酒を提供する飲食店等を周遊しスタンプを集めて応募した人に抽選でプレゼントが当たるキャンペーンを実施中(R4/10/1～12/25)
- ・ 今年度新たにANAブルーアンバサダーのおすすめの食べ物や観光スポットを掲載
- ・ パンフレット呈示で受けられる特典サービスも新設

4 ポストコロナにおける観光誘客

新型コロナウイルス感染症の世界的流行により低迷した観光需要の早期回復が期待される中、地域資源の魅力が再認識されるなど観光業を取り巻く状況は変化。全国旅行支援開始やインバウンド再開の今、庄内の魅力ある地域資源のさらなる磨き上げ、観光復活と持続可能な観光の推進を図る。特に、課題である冬の誘客施策においてその積極的な展開を実施する。

○「食の都庄内」ガストロノミーツーリズムの展開

庄内の「食」を育んだ歴史や伝統、暮らし、風土、文化等を背景に豊かな食のストーリーを堪能する旅行ツアーの催行などを実施する。

(1)「食の都庄内」親善大使と連携した
ガストロノミーツアー実施 9月、10月、11月

(2)ガストロノミーツーリズムシンポジウム開催

- 開催日 10月13日(木)
- 講演「食が引き出す地域の魅力」
～料理人は地域のプレゼンター～
料理王国編集部 久保 典昭 氏
- パネルディスカッション
「食」を目的とした観光地となるために



(3)ガストロノミーツーリズムを考えるワークショップ開催

- 開催日 11月9日(水)、16日(水)
- 内容 食をテーマとした新しいコンテンツの発掘、開発及び磨き上げを行うワークショップを通じて、今後のガストロノミーを牽引する若手人材を育成。

(4)ガストロノミーツーリズム総合ガイドブック製作

ツアーのガイドブック、旅行エージェントへの宣伝資料として活用 2月発行予定

○食と伝統文化を絡めた冬の観光誘客

寒鱈、庄内北前ガニ、天然とらふぐ、庄内おぼこサワラなどのおいしい季節の食材・新酒と伝統文化で、冬の観光誘客を一層推進していく。



王祇祭(黒川能)



庄内北前ガニ



天然とらふぐ



松例祭(出羽三山神社)

○プロジェクションマッピング

●「雪と庭園の灯り～2022～」

昨年度の実施を活かし、旅行商品化を図る。

- 開催日 ①12月2日(金)～12月4日(日)
②12月16日(金)～12月18日(日)
- 開催場所 ①玉川寺(鶴岡市) ②総光寺(酒田市)



プロジェクションマッピング

●プロジェクションマッピングin東田川文化記念館

2015年から「Hisu花(ヒスカ=藤島歴史公園)」で開催されている藤島イルミネーションと連携。

- 開催日 ①プライベート(点灯式) 11月3日(木・祝)
②本イベント 1月7日(土)・8日(日)
- 開催場所 東田川文化記念館(鶴岡市)



藤島イルミネーション

○「冬の味覚・光のアート♪

おいでよ！冬の庄内フェア」(県内周遊促進事業)

特産品の販売や抽選会、PR動画の上映を実施。

酒田舞娘の演舞やANA SHONAI ブルーアンバサダーによる庄内の冬の観光PRで、観光誘客、周遊促進を図る。

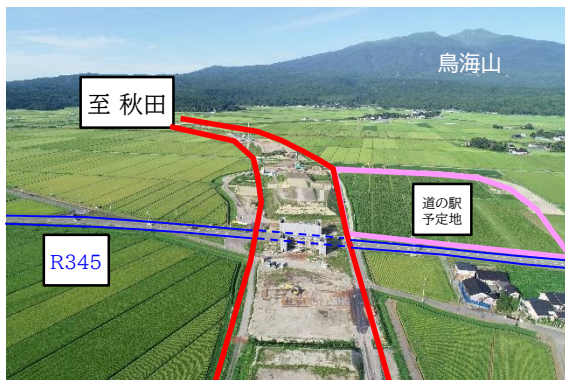
- 開催日 11月5日(土)11:00～16:00
11月6日(日)10:00～15:00
- 開催場所 やまぎん県民ホールイベント広場



5-1 高規格道路の整備促進

課題

ミッシングリンク



高速道路整備率

県全体 約 **79%**

庄内地域 約 **71%**
(R4年9月末現在)

新潟県境
約 **41km**
事業中



鼠ヶ関トンネル



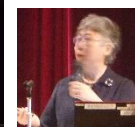
鼠ヶ関トンネル付近盛土区間

○ 第4回 高速道路・地域高規格道路 整備促進セミナー

(令和4年10月19日開催)



遊佐町生涯学習センター



宮城学院女子大学
現代ビジネス学部
教授 宮原 育子



合同会社 Oriori
代表 藤川 かな奈



酒田商工会議所青年部
会長 矢野 慶汰

発表者の意見

宮原 育子氏

- ・ ウィズコロナ時代を契機に、観光トレンドを取り入れる。(鳥海山・飛鳥ジオパークの活用)

藤川 かな奈氏

- ・ 次世代の若者や地域の外の人間を取り入れた柔軟な政策づくりが地域活性化に結び付く。

矢野 慶汰氏

- ・ 子どもたちが地元の魅力を感じることが出来る街づくりを目指す。
- ・ 地域連携軸の形成による隣接地域の交流からおこる化学反応に期待。

参加者の声

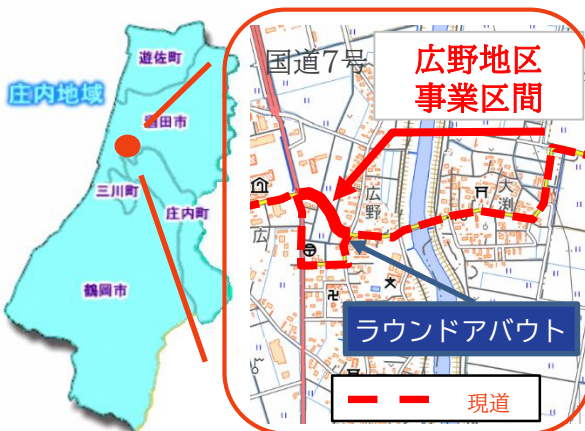
- ・ 一刻も早く整備してほしい。(10代男性)
- ・ 救急搬送時間の短縮の向上が見込まれる。(20代男性)
- ・ 新潟方面のアクセシビリティ向上で余暇の選択肢が増える。(30代男性)
- ・ 私たちがより多くの人たちに興味を持ってもらえる活力ある地域づくりの努力が必要。(50代女性)

5-2 道路・河川事業の状況

○ 環状交差点（ラウンドアバウト）完成 県管理道路初（R4/10/13供用）

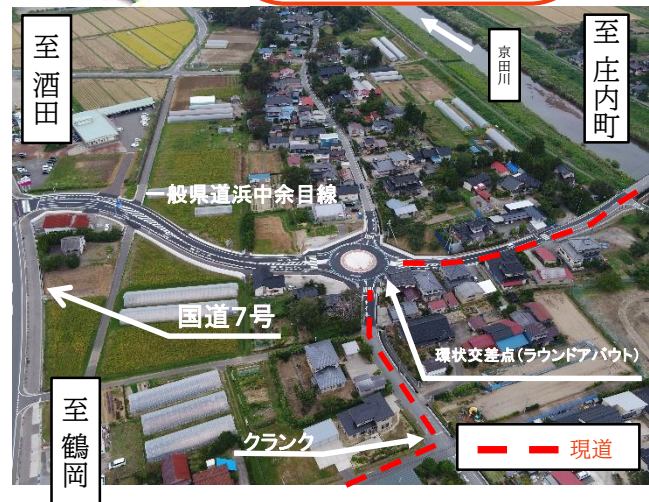
概要

施行箇所：酒田市広野地区
 路線名：一般県道浜中余目線
 道路延長：420m
 道路幅員：11m（環状交差点部 27m）
 事業費：約4億円



ラウンドアバウトの効果

- ・進入・通過速度が低下
- ・交差点での待ち時間減少
- ・通過時間の縮減
- ・速度低下や交錯箇所減少に伴う重大事故減少
- ・歩行者交通の安全性向上



○ 流下能力向上のための河道掘削

実施状況

- ・庄内総合支庁の管理河川は154河川
- ・R元年度からR3年度まで延べ59河川71箇所を掘削（河川流下能力向上対策）
- ・これまでに対策を講じた箇所での溢水や越水の被害はない
- ・R4年度は15河川16箇所の河道掘削を予定

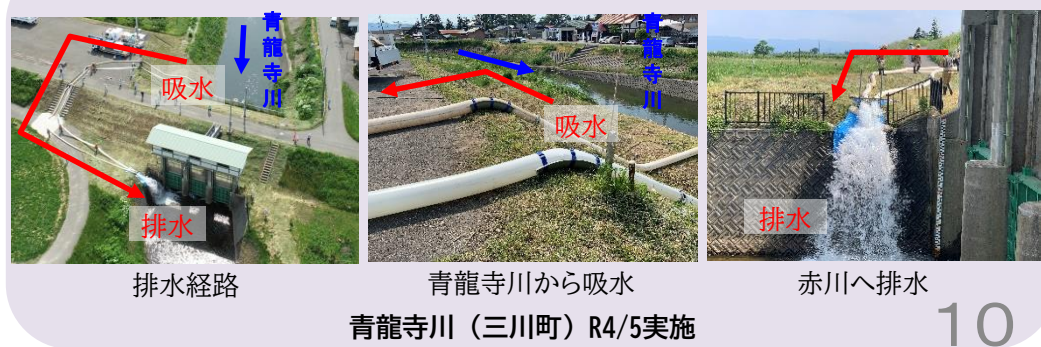
堆積土砂や支障木の増加により氾濫の可能性がある箇所



楯山川（酒田市）R3実施

○ 内水対策のための排水ポンプ操作演習

R2年7月豪雨の浸水被害を受けて



排水経路
 青龍寺川から吸水
 赤川へ排水
 青龍寺川（三川町）R4/5実施

6 地域の話

○ 庄内浜 釣りケーション

① フォトダービーコンテスト

開催期間 R4/9/30~12/31

庄内浜での釣りの楽しさを伝える写真を募集し、SNSを通じて庄内浜での釣りケーションの魅力首都圏等に発信する。



グランプリには庄内米100kgを進呈

② 釣り具無料レンタルキャンペーン

開催期間 R4/9/30~R5/3/7

出張等で庄内を訪れる方が手ぶらで釣りケーションを体験できるよう、ANA羽田⇒庄内線の利用者を対象に、釣り具無料レンタルキャンペーンを実施している。



酒田港「SAKATANTO」でレンタル実施

○ 庄内空港シャトルバスの実証運行

庄内空港から路線バスが運行されていない鶴岡市湯野浜、加茂、由良へのシャトルバスの実証運行を実施。「ショウコウチェリカ」などの交通系ICカードも利用可。

運行についてアンケート調査も実施し、次年度以降の運行体制を検討する。

運行日：27日間 (7/16~9/25の土日祝+8/12)
利用者数：97人



バスマスクを掲示



○ ANA BlueHangar (ANA羽田空港機体工場) 見学ツアー

開催日 R4/10/1(庄内空港開港記念日)~10/2

おいしい庄内空港ファンクラブ会員を対象として羽田空港の機体工場を見学するツアーを実施し、親子等38名が参加した。

今後は、本ツアーを旅行商品化するなどして、おいしい庄内空港の利用回復につなげていく。



格納庫3階デッキから



タイヤ交換作業



機内体験コーナー

○ 飛島移住定住促進事業「島キャンプ」

飛島での移住体験等を通じて、将来的な移住者の増加や関係人口の創出・拡大を図る「島キャンプ」を開催。アートプロジェクト、リモートワークをテーマとした合宿を行った。

11月には東京の会場でフォローアップミーティングを行い、今後も参加者と飛島との関係継続を図っていく。

開催日・参加者

第1回 8/25~8/28 11名

第2回 9/17~9/19 10名

合計21名参加



「島キャンプ」の様子 11

6 地域の話題

○ ノウフクランチ in庄内総合支庁食堂

開催期間 R4/9/13～9/15

農福連携に取り組む管内障がい福祉サービス事業所で生産された農作物を使ったランチを提供した。

農福連携への理解促進のほか、SDGsの取組みの推進、エシカル消費の啓発に繋げていく。

販売食数：277食（3日間の合計）



ノウフク野菜のキーマカレー目玉焼き添え



お客様の声

- ・新鮮な野菜たっぷりで、おいしくいただきました。
- ・農福連携の取組みを知る上で、非常に良い企画だと思います。
- ・障がい者の社会参加が、より進む社会になればと願っている。

事業所の声

- ・食べていただいた方からの評判も良く、こうした声が利用者、職員の励みになる。
- ・規格外品の納入先を、新たに開拓することができた。

今後の取組み

第2回 R4/11/15(火)～11/17(木)

第3回 R5/1

※ 併せて総合支庁ロビーで野菜の販売を実施

○ 庄内プロジェクトAチーム



庄内プロジェクトAチームは、農業農村整備事業への理解促進と地域の元気創出を目的に、SNS(県HPとfacebook)を活用した情報配信(動画と記事)を行う庄内総合支庁農村計画課職員12名で構成する広報チーム。

企画、取材、制作、配信に係るすべての作業を職員が行い、R3年6月からこれまで動画11本、記事56本を配信。SNSの視聴回数は活動前の100倍以上となり、直近は月4,000回を超えている。

今年3月、その活動の農村振興への寄与が認められ、全国農村振興技術連盟から広報大賞優秀賞を受賞。

人気の最新動画

県HP「動画チャンネル わんだふる」



世界かんがい施設遺産「北楯大堰」に行ってみよう！



農業はここまで快適に！スマート水管理



10月の投稿記事

県HP「庄内農村整備のいまがわかるN.N. REIKO」

小学生が農業用調整池で自然体験学習！
三川町立押切小学校の4年生が魚の種類や生態について学習。

今年度で工事完了！「上堰・八カ村堰地区」
水路の改修により農業用水の安定供給と大雨時の排水効果に期待。

生きものに配慮した整備計画を作りました
希少な生物の生息地となる「よどみを設けた水路」を計画。

